

SAJ 活動 pickup

2022年1月～2022年6月

一般社団法人ソフトウェア協会

SAJ 活動 pickup

2022年1月～2022年6月

本資料では、2022年1月から2022年6月までの主な活動を pickup してご紹介します。

本資料では、委員会・研究会活動等のなかで、企画・実施したもの、調査・研究を行ったものなどを中心に、事務局の各担当がとりまとめを行い掲載しています。なお、委員会・研究会活動の経過内容等については割愛していますが、ご興味・ご関心を持たれた活動がありましたら、ぜひご参画ください。

内容

YOUTUBE チャンネル開設	2
政策提言・意見交換	3
視察ツアー	5
イベント	9
ビジネスマッチング	12
情報提供セミナー・説明会	14
2022年7月以降開催セミナー(予定含む)	35
ニュースリリース	37
報告書	40
実施事業	42
ご案内	43

ソフトウェア協会 YouTube チャンネル



弊協会は、各種の情報発信の場として、YouTube 公式チャンネルを開設しています。

本チャンネルでは、協会の会長や副会長からのメッセージや、IT やソフトウェア業界にまつわる各種映像を公開しています。ぜひご覧ください。

●公開動画（2022年8月1日現在）

- ・ SAJ 新会長 田中邦裕より会員の皆様にご挨拶
- ・ 令和4年1月19日開催 ソフトウェア協会新春座談会
- ・ 厚生労働省：就職氷河期世代の方向けの短期資格等習得コース事業の研修講座を受講後に就職した卒業生の声 等

●SAJ の YouTube 公式チャンネル URL ・ QR コード

<https://www.youtube.com/channel/UCf0nZvRWX8g3CEKGuZDdVOg>



ぜひ、チャンネル登録をお願いします！

政策提言・意見交換

2022年1月13日(木)

SAJ、地方創生テレワーク推進に関する包括連携協定を締結

一般社団法人ソフトウェア協会は、1月13日、内閣官房まち・ひと・しごと創生本部と地方創生テレワーク推進に関する包括連携協定書を締結しました。今後、地方創生テレワーク推進パートナーとして、地方創生テレワーク関連の取り組みを推進していきます。

新型コロナウイルス感染症の拡大により、東京都23区で4割以上の方々がテレワークを経験し、地方移住や、兼業・副業、ワークライフバランス充実への関心の高まりが見られるなど、テレワークに関する企業の取り組みが進展するとともに、国民の意識や行動も変容してきています。

こうした状況を踏まえ、都市部の企業勤務者がテレワークにより、地方にしながら都会と同じ仕事ができるようになれば地方移住の拡大が期待できると考えられます。こうした、「転職なき移住」とも言うべき画期的な働き方を実現し、地方におけるサテライトオフィスでの勤務などの地方創生に資するテレワークを推進していくことが重要であると考え、今回の包括連携協定書の締結に至りました。

今後、SAJは政府と自治体・企業・働き手とも連携することを視野に入れ、「地方創生テレワーク」への貢献を目指してまいります。



2022年4月4日(月)

「知的財産推進計画 2022」の策定に対する意見を提出

2022年3月4日から2022年4月4日までの期間、知的財産戦略本部より公示されました「知的財産推進計画 2022」の策定に対する意見募集について、法務知財委員会で意見をとりまとめ、2022年4月4日に、内閣府 知的財産戦略推進事務局へ意見を提出しました。

2022年5月13日(金)

納税環境の電子化等に係る意見交換会を実施

2022年5月13日、オンラインにて、財務省、国税庁、経済産業省との納税環境の電子化等に係る意見交換会を実施しました。行政側から改正電子帳簿保存法を踏まえたシステムの対応状況についてヒアリングが行われ、ベンダー側からはユーザーがデジタル化を進めていく上での課題やシステム開発リソースの問題などについて事例に基づき説明し、その後、意見交換を行いました。

政策提言・意見交換

2022年5月25日(水)

SAJ、佐賀県武雄市と「包括連携協定」を締結

地域活性とスマートシティの実現に向け始動！

佐賀県武雄市と一般社団法人ソフトウェア協会（以下、SAJ）は、地域活性とスマートシティの実現にむけ、包括連携協定を締結しました。

佐賀県武雄市は、ICT教育を積極的に推進し、今秋西九州新幹線の開通が予定されている地域です。温泉・焼き物・大楠といった観光資源は豊富にあり、それらを有効に活用して交流人口を増やし「西九州のハブ都市」を実現することを目指していますが、少子高齢化による人口減、経済、災害などの課題解決を必要としております。

そこで、「ソフトウェア（国）の未来を創る」をビジョンに掲げるSAJとSAJ会員企業のノウハウ・実績を活用することによって、武雄市の教育、福祉、文化、まちづくり等、さまざまな分野でデジタル化を推進し、スマートシティ化の実現と、地域課題の解決を目的とし、協定を締結するに至りました。

<連携内容>

1. 教育・福祉・文化の振興、発展に関すること
2. まちづくりに関すること
3. 地域産業の振興、発展に関すること
4. スマートシティの推進に向けた取組に関すること
5. その他、必要に応じて甲乙が協議し認める事項



視察ツアー

佐賀県武雄市視察

期間：2022年2月16日～17日

スマートシティ研究会では、地域のスマートシティ化と課題解決に向け、モデルとなる地方自治体を調査・ヒアリングを実施するため、コアメンバーで佐賀県武雄市を視察し、観光資源、現地の実態、課題などについて、武雄市長、市職員、地元住民と意見交換を行った。

本視察を機に、研究会で取り組むスマートシティ化のモデル自治体第1号に武雄市とすることが決定し、包括協定を締結することとなった。



視察ツアー

群馬県行政視察

(主催：交流委員会)

開催日：2022年5月27日(金)～5月28日(土)

会場：群馬県前橋市(群馬県庁、前橋市内)、渋川市伊香保町

参加実績：SAJ側30社・団体/37名、群馬県側3社・団体/5名

交流委員会の初の企画となる行政視察は、2022年5月27日(金)に群馬県および前橋市様のご協力をいただき、群馬県前橋市で開催された。

SAJからは会長をはじめ役員や会員企業、そして現地群馬県からのご参加も含め、総勢33社・団体/42名が参加し、大変盛況な中、無事終了した。

■群馬県庁視察・取組紹介、県知事との対談

群馬県庁に訪問し、官民共創スペース「NETSUGEN」の見学、群馬県の取組紹介を拝聴し、また山本一太知事、宇留賀敬一副知事とSAJ荻原会長、水谷筆頭副会長をはじめとした幹部陣との対談を行った。



■前橋市内視察

前橋まちなかエージェンシー 代表理事の橋本 薫 様の案内で、前橋市内の民間主導で行われている街づくりの状況を視察。



■懇親会

伊香保旅館 如心の里 ひびき野にて懇親会。



視察ツアー

SAJ 会員の若手実務者親睦イベント第 2 回会員企業視察「株式会社クマヒラ」 ～すごい物理セキュリティを体験しよう～

(主催：交流委員会)

開催日：2022年6月22日（水）

会場：株式会社クマヒラ

参加実績：15社27名

SAJ 交流委員会では、若手～中堅社員の皆様の幅広い交流を図ることを目的に、会員企業視察&若手実務者親睦イベントを実施。

第2回目となる企業視察は、株式会社クマヒラ様。創業から124年、時代やシステムが移り変わっても人々の財産や情報を守り、ニーズに即応したトータルなセキュリティシステムを提供している株式会社クマヒラ様に伺い、昔ながらのダイヤル式の金庫から最新の金庫、多種のセキュリティゲート、提供を開始したばかりのクラウド型入退室管理サービス「SPLATS」などを体験。

終了後は、懇親会が行われ、株式会社クマヒラ様のご担当の方々や参加者の皆様との懇談とその際に紹介された「SPLATS」のアイデアソンについての意見交換などが活発に行われた。



視察ツアー

産官学連携によるスマート農業データ活用 in 高知～Internet of Plants が導く次世代型施設園芸農業～

(主催：農業 ICT 研究会)

開催日：2022年5月19日(木)～20日(金)

会場：高知県南国市

参加実績：9社・団体/15名

高知県農業振興部、Aitosa 株式会社、株式会社南国スタイル、高知県農業技術センター、高知大学等にご協力いただき、「産官学連携によるスマート農業データ活用 in 高知」を開催。

高知県では、産官学連携のもと、「もっと楽しく、もっと楽に、もっと儲かる」農業の実現を目指し、デジタル技術を活用したデータ連携基盤「IoP (Internet of Plants) クラウド」の推進・活用に取り組んでいる。

IoP クラウドとは、IoT で接続した農業ハウス内の機器のデータや、高知県全体にわたる農産物の個々の出荷に関するデータなどを、リアルタイムで一元的に集約するクラウド型のデータベースシステムで、これにより、農家それぞれが個人で保有していた情報が共有され、また大学・JA といった専門機関から指導を受けることによって、生産効率の向上や美味しい作物を作るノウハウを学ぶことができる。

4月にIoPクラウドの仕組みと事例についてご講演いただくセミナー(テクノロジーで儲かる農業へ～高知県次世代農業プロジェクト～)が開催され、本視察では、実際に現地に赴き、農場や農家でIoPクラウドがどのように活用されているのか、見聞を広めた。



イベント

令和4年5月9日

第11回SAJ幹部と新入会員との懇親会

(主催：SAJ)

令和4年5月9日（月）、2021年度下半期入会企業の皆様と総務委員会メンバーを中心とする幹部陣との第11回SAJ幹部と新入会員との懇親会が開催された。

新型コロナウイルス感染防止対策として、東京都「感染防止徹底点検済証」を取得しており、立食最大100名の会場（ダイナミックキッチン&バー 響 風庭 赤坂）で、全員マスク着用の上で会は進行された。

当日は、10社/17名の新入会員企業様にご参加いただき、幹部陣含め、総勢39名の参加となり盛況な懇親会になった。

会は、荻原会長をはじめとした幹部陣の紹介から始まり、荻原会長による乾杯のご挨拶、会の中盤で参加企業様の紹介と各社からの1分スピーチなども行われ、大変和やかな雰囲気の中、水谷筆頭副会長の中締めで終了した。

当日ご参加いただいた新入会企業の皆様は以下の通り。

- ・アマゾン ウェブ サービス ジャパン合同会社
- ・株式会社キッズライン
- ・株式会社クマヒラ
- ・株式会社 Globable
- ・株式会社 Zene
- ・パイオネット・ソフト株式会社
- ・株式会社バイトルヒクマ
- ・フェアシステム株式会社
- ・ユーザックシステム株式会社
- ・株式会社ワークスアプリケーションズ・フロンティア



出席幹部紹介



会場の風景1



会場の風景2



会場の風景3

イベント

2022年6月8日(水)

SAJ 令和4年度第37回定時総会・特別講演・懇親会

2022年6月8日、The Okura Tokyoにおいて、第37回定時総会・特別講演・会員集会・定時総会懇親会が開催された。

正会員の皆様には、新型コロナウイルス感染拡大に備え、総会ご出欠とは別に、事前に議決権行使書のご提出にご協力を頂いた。

■定時総会

第37回定時総会は、荻原紀男会長が議長となり、議案の審議に入った。

<決議事項>

- 第1号議案 令和3年度事業報告および決算報告承認の件
- 第2号議案 定款の変更について
- 第3号議案 令和4年度5年度理事及び監事の選任について
- 第4号議案 役員報酬規程一部改訂(案)承認の件
- 第5号議案 役員報酬の総額について

<報告事項>

1. 2022年(令和4年)度事業計画および収支予算書について
2. 2022(令和4年)度SAJ功労賞等の受賞者発表

審議の結果、第1号議案から第5号議案までの議題は原案通り承認された。

▼総会

総会終了後、2022年(令和4年)度SAJ役員功労賞等の表彰式が行われた。受賞者は以下の通り。

▼2022年(令和4年)度SAJ特別功労賞受賞者

- ・水谷 学 様

▼2022年(令和4年)度SAJ役員功労賞受賞者

- ・伊藤 裕二 様
- ・浦川 伸一 様
- ・北原 佳郎 様
- ・中谷 昇 様

■特別講演

総会終了後、「菅内閣の取り組みとこれからの重要課題」と題し菅 義偉氏(衆議院議員、第99代内閣総理大臣)による特別講演が開催された。

■懇親会

第37回定時総会・特別講演が終了した後、隣室に場所を移し、第37回定時総会懇親会が開催された。

懇親会の開催に先立ち、総会で承認された新役員が紹介された。

そして田中邦裕新会長より、「新しく」というキーワードと共に、今までこのような会に来ていなかった会員企業の皆さんが来たいと思えるように、そして会員各社の皆様が、今以上に協会の活動に参加して、業績を伸ばして社会を変えていく、新しく世の中を変えていく人たちを応援する、そんな団体でありたいと抱負を述べ、開会した。

8年間会長を務めた、荻原紀男前会長へ田中邦裕新会長より花束贈呈がなされ、その後、ご来賓の挨拶として、デジタル庁 デジタル大臣 牧島かれん様、経済産業大臣政務官 吉川ゆうみ様、続いて衆議院議員 平井卓也様にご挨拶を頂戴し、日本電気株式会社 取締役会長 遠藤信博様による乾杯のご発声で宴が開始された。

懇親会にはご来賓、業界関係の方々をはじめ、SAJ会員の皆様など約300名のご来場者を迎え、3年ぶりとなる懇親会は、和やかなご歓談が繰り広げられた。

懇親会は、大変盛況のうちに中締め時間となり、鈴木正之筆頭副会長による中締めで、閉幕した。



イベント

第 14 回会長杯親睦会

(主催：交流委員会)

2022年5月28日(土)、第14回会長杯親睦会が「伊香保カントリークラブ」で開催されました。当日は総勢11組43名の皆様にご参加いただきました。

開会式では、最初に荻原会長のご挨拶をいただき、交流委員会の村瀬委員長より、今回初参加となる方をご紹介いただいた後、ルール説明が行われた。その後、OUTコース、INコースに分かれて、プレーが開始された。

皆さま日頃の腕前を競いつつ、ビジネスやプライベートの話などで親睦を深めていた。

プレー後は、交流委員会メンバーの進行により、懇親会とあわせて表彰式が行われ、第14回会長杯親睦会は、盛況のうちに終了した。



ビジネスマッチング



第 144 回アライアンスビジネス交流会

(主催：交流委員会)

IT 企業同士のビジネスマッチングの場を提供し、互いにビジネスパートナーを見つけていただくことを目的とした交流会

開催日：2022 年 2 月 8 日 (火)

会場：オンライン (Zoom)

参加実績：33 社・団体 42 名

プレゼンテーション1：[ジェネテック・ジャパン株式会社](#)

テーマ：ビデオマネジメントシステムを利用した、映像解析システムとの連携

発表製品分類：ビデオマネジメントシステム

発表製品名：Genetec Security Center

プレゼンテーション2：[株式会社バイトルヒクマ](#)

テーマ：通勤管理業務のムダを削減するサービス「通勤管理 Arvo」のご紹介

発表製品分類：SaaS 型の HR 製品、通勤管理システム

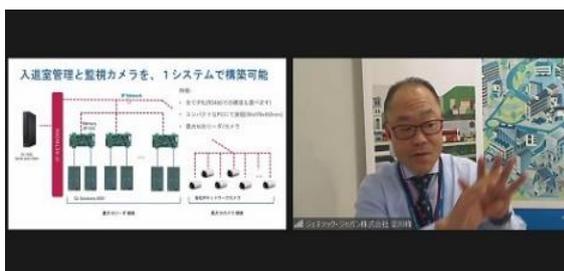
発表製品名：通勤管理 Arvo

プレゼンテーション3：[ネットレコーダー・ソリューションズ株式会社](#)

テーマ：ライブ (リアルタイム) とオンデマンドの良いとこ取り、より効果的なオンライン活用をワンストップ

発表製品分類：マルチメディア*マルチデバイスに対応したデジタルコンテンツの配信システム

発表製品名：MOPS (Multimedia Contents On demand Platform System)



ビジネスマッチング



第 145 回アライアンスビジネス交流会

(主催：交流委員会)

IT 企業同士のビジネスマッチングの場を提供し、互いにビジネスパートナーを見つけていただくことを目的とした交流会

開催日：2022 年 4 月 26 日 (火)

会場：オンライン (Zoom)

参加実績：46 社・団体 54 名

特別講演：函館市の魅力について

講演者：竹崎 太人氏 (函館市 経済部企業立地担当 課長)

講演概要：函館市のご紹介、昨年度開設したサテライトオフィスのご紹介およびワーケーションに関する取り組みのご紹介 1

プレゼンテーション1：[株式会社 TREASURY](#)

テーマ：電子契約サービスの比較ポイント、将来の電子取引の動向

発表製品分類：Great Sign (電子契約サービス)、Great eKYC (オンライン本人確認サービス)

発表製品名：Great Sign (電子契約サービス)、Great eKYC (オンライン本人確認サービス)

プレゼンテーション2：[H3C Japan Technologies 合同会社](#)

テーマ：H3C ネットワーク・インフラ製品のご紹介

発表製品分類：有線/無線ネットワーク・インフラ製品とクラウド型管理ツール

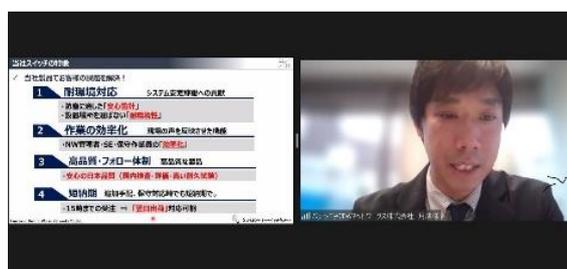
発表製品名：H3C Campus Switch および WA6000 シリーズ無線 AP と Cloudnet

プレゼンテーション3：[パナソニック EW ネットワークス株式会社](#)

テーマ：当社の事業紹介及びスイッチングハブ・アライアンスによる製品開発・サービス開発のご提案

発表製品分類：スイッチングハブ及びネットワーク機器

発表製品名：スイッチングハブ：PoE シリーズ/L2・L3 レイヤースイッチングハブ



会員向けビデオアーカイブ

●会員向けビデオアーカイブとは...

セミナー当日に受講できなかった方や、受講後に社内への情報共有として活用したい方向けに、SAJで開催したセミナーや講演会、説明会等で撮影したビデオや当日資料を視聴・閲覧出来るページです。

※視聴・閲覧はSAJ会員限定となっております。

※タイトル冒頭に📺のアイコンがあるセミナーは、アイコンをクリックするとアーカイブページに遷移いたします。遷移後に要求されるユーザ名とパスワードは、毎月2回会員向けに配信させていただいておりますSAJ NEWSに記載されています。



SAJについて 委員会・研究会 セミナー・イベント 政策提言・ガイドライン 会員専用 >

📺 リアルメタバースが拡張する都市と社会構造 (開催日:2022年7月20日)

技術委員会主催 リアルメタバースが拡張する都市と社会構造 資料ダウンロード(PDF/4.0MB)	
--	--

📺 リーガルオペレーション革命 (開催日:2022年6月29日)

法務・知財委員会主催 リーガルオペレーション革命 ～法務DXにおける課題と解決方法～	
--	--

情報提供セミナー・説明会

総務

第1回キックオフ会合

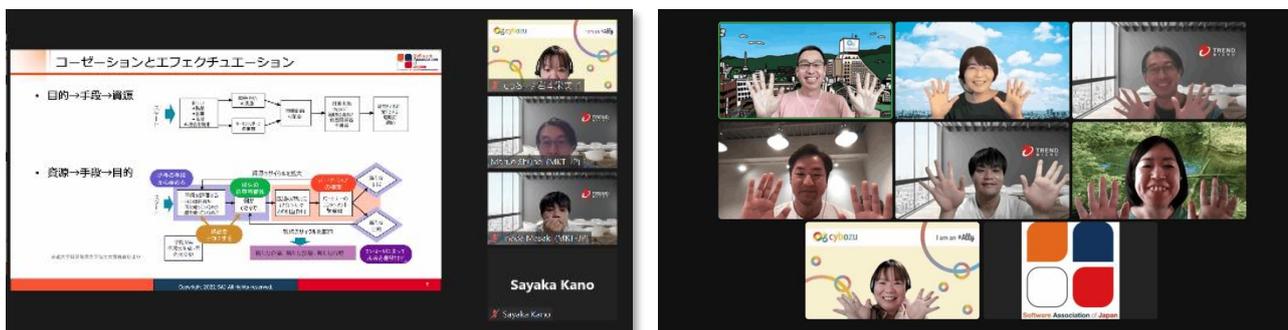
(主催：ワクワクする学び場創造研究会)

開催日：2022年6月22日(水)

会場：オンライン (Zoom)

参加実績：4社7名

講演概略：2021年度で活動を終了した「プログラミング教育研究会」から有志が集まり、新たなつながりと学びの姿を模索する場として、新たに「ワクワクする学びの場創造研究会」が発足。2022年6月22日(水)に第1回の会合がオンラインで実施。「学び」というキーワードをもとに、子ども、保護者、先生まで幅広く捉え、参加者間でアイデアや経験を共有した。



政策

インボイス制度及び改正電子帳簿保存法に関する説明会

(主催：政策委員会)

開催日：2022年4月21日(木)

会場：オンライン (Zoom)

参加実績：68社108名

タイトル1：インボイス制度の説明

講演者2：佐々木 辰実氏 (財務省主税局 税制第二課 課長補佐)

説明概略：令和5年10月から開始するインボイス制度の概要について、事業者の方々からよく質問を受ける内容を踏まえ解説。

タイトル2：改正電子帳簿保存法の説明

講演者2：出口 達也氏 (財務省主税局 税制第一課 課長補佐)

説明概略：近時の電子帳簿保存法の見直しに関する内容について説明。



情報提供セミナー・説明会

法務・知財

政府調達における情報システム実態調査報告～ベンダーロックインの回避に向けて～

(主催：法務・知財委員会)

開催日：2022年3月15日(火)

会場：オンライン (Zoom)

参加実績：26社48名

タイトル1：官公庁における情報システム調達に関する実態調査について

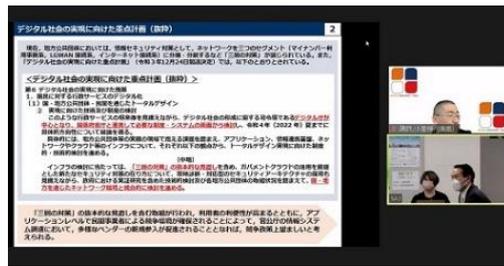
講演者：小室 尚彦氏 (公正取引委員会 事務総局調整課 課長)

講演概略：競争政策の観点から、多様なベンダーが参入しやすい環境を整備することが重要であるとの認識の下、官公庁における情報システム調達の実態を把握するための調査結果と概要について説明し、質疑応答では、より良い調達の在り方について、意見交換が行われた。

タイトル2：最近の法律関連の旬な話題「4月1日施行 令和2年個人情報改正法」
～超わかりづらい個人情報保護法をどう理解するか～

講演者：平野 高志氏 (SAJフェロー/法務知財委員会副委員長/ブレイクモア法律事務所 弁護士)

講演概略：個人情報保護法の改正内容について、かみ砕いて解説。



リーガルテックオペレーション革命～法務 DX における課題と解決方法～

(主催：法務・知財委員会)

開催日：2022年6月29日(水)

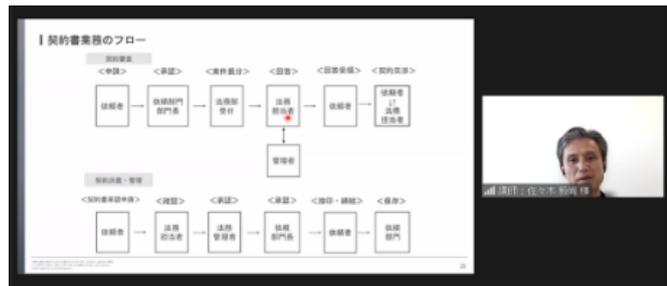
会場：オンライン (Zoom)

参加実績：23社30名

タイトル：リーガルオペレーション革命～リーガルテックを活用したリーガルオペレーションの進化～

講演者：佐々木 毅尚氏 (株式会社 LegalForce 執行役員 法務担当)

講演概略：ルーティンワークを効率化させ、高度で専門的な内容や新しいビジネスに寄与できるよう、法務部門にも DX 化が重要であるとし、国内のリーガルテックの分類と今後の展開予測などを説明いただくほか、改正電子帳簿保存法についても改変前後の対比をもとにわかりやすく解説。



情報提供セミナー・説明会

人材

私は創造的でありたい～「すでにはじまっている未来」と「日本の今」

(主催：人材委員会)

開催日：2022年1月13日(木)

会場：オンライン (Zoom)

参加実績：27社40名

タイトル1：「私は創造的でありたい～「すでにはじまっている未来」と「日本の今」～」

講演者1：若宮 正子氏 (IT エバンジェリスト)

講演概略1：今回のセミナーでは、若宮より自分の生活経験や今やっていることを始め、誰ひとりも取り残さない「デジタル改革」を目指して、人生100年時代をどう生き抜くべきかについて講演。

タイトル2：就職氷河期世代の方向けの短期資格等習得コース事業「人材活用セミナー」

講演者2：笹岡 賢二郎 (一般社団法人ソフトウェア協会 専務理事)

講演概略2：本事業の概要説明および訓練、就職支援について紹介。また「研修講座を受講後に就職した卒業生の声」動画を公開。



経験の知識化とスキルへの深化 ～学ぶこと、覚えること、活かすこと～

(主催：人材育成研究会)

開催日：2022年2月16日(水)

会場：オンライン (Zoom)

参加実績：28社35名

タイトル1：「経験の知識化とスキルへの深化」

講演者1：松居 辰則氏 (早稲田大学人間科学学術院教授 次世代AI人材育成訓練プログラム検討委員会委員長)

講演概略1：科学技術の高度な進展により社会変化のスピードが加速度的に速くなっている社会の中で、人が自らのアイデンティティを大切にしより豊かに生きるためには、様々な経験を通して常に新しい知識を獲得して、それを自らのスキルとして深化させる必要があり、特に技術者の世界ではこの流れは顕著である。今回の講演では、経験をいかにして知識化するのか、そしてそれらをいかにしてスキルとして深化させるのか、について研究事例を通して紹介。

タイトル2：「次世代AI人材育成訓練プログラムのご紹介」

講演者2：富田 伸一郎氏 (㈱ウチダ人材開発センタ 代表取締役社長)

山川 宏樹氏 (㈱ウチダ人材開発センタ 営業本部 ラーニングソリューション部 部長)

越智 徹氏 (大阪工業大学 情報センター 講師)

講演概略2：「次世代AI人材育成訓練プログラム」の講習概要やカリキュラム・教材の紹介、リニューアル内容、AIを活用した分野の訓練について紹介。

タイトル3：「就職氷河期世代の方向けの短期資格等習得コース事業のご紹介」

講演概略3：「次世代AI人材育成訓練プログラム」の講習概要やカリキュラム・教材の紹介、リニューアル内容、AIを活用した分野の訓練について、紹介。

講演者3：一般社団法人ソフトウェア協会 キャリアサポートセンター

講演概略3：就職氷河期世代の方向けの短期資格等習得コース事業の背景、事業内容、訓練カリキュラムのご紹介及び訓練と就職の状況、求人実績等について紹介。



情報提供セミナー・説明会

人材

就職氷河期世代の方向けの短期資格等習得コース事業人財活用セミナー

(主催：人材育成研究会・SAJ キャリアサポートセンター)

開催日：2022年1月13日(木)

会場：SAJ 会議室+オンライン (Zoom)

参加実績：40名

講演者1：笹岡 賢二郎 (SAJ 専務理事)

- 講演概略1：
1. 事業概要説明
 2. プログラムの魅力説明
 3. 訓練カリキュラム説明
 4. 訓練、就職支援の特徴説明
 5. 訓練と就職の実施状況説明
 6. 令和4年度訓練予定説明
 7. 就職支援実績説明
 8. 本事業を卒業して就職した方のインタビュー動画視聴

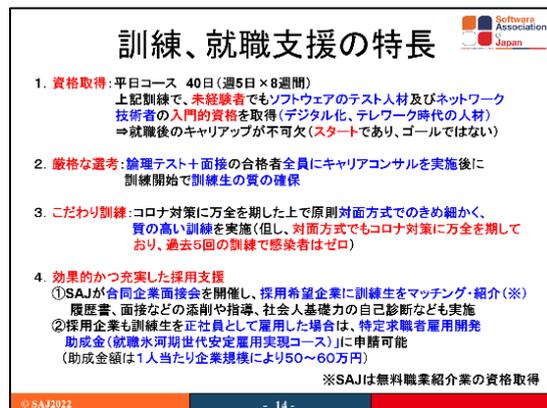
開催日：2022年2月16日(水)

会場：SAJ 会議室+オンライン (Zoom)

参加実績：35名

講演者2：桶本 真史 (SAJ キャリアサポートセンター 主任研究員)

- 講演概略2：
1. 事業概要説明
 2. プログラムの魅力説明
 3. 訓練カリキュラム説明
 4. 訓練、就職支援の特徴説明
 5. 訓練と就職の実施状況説明
 6. 令和4年度訓練予定説明
 7. 就職支援実績説明
 8. 本事業を卒業して就職した方のインタビュー動画視聴



情報提供セミナー・説明会

人材

就職氷河期世代の方向けの短期資格等習得コース事業

第6回訓練生対象 合同就職面接会

(主催：SAJ キャリアサポートセンター)

厚生労働省からの委託を受け、就職氷河期世代の方向けの短期訓練等の事業を実施している。今回、訓練を修了した方を対象に下記の通り合同就職面接会をオンラインで開催。

開催日：第6回訓練生対象 2022年3月18日(金)

※IT 検証技術者(東京・大阪)、システム運用技術者(東京・大阪)

会場：オンライン (Zoom)

流れ：①合同就職面接会前 事前に面接者を決定

以下の3つのパターンからマッチングをした修了生と面接

パターン1…参加企業が訓練生のプロフィールを確認し選択

パターン2…参加企業に面接を希望する訓練生を推薦

パターン3…事務局が訓練生を選択し参加企業へ推薦

②合同就職面接会 当日 (AM)

企業説明 (15分/1社)

参加訓練生全員に会社説明

③合同就職面接会 当日 (PM)

面接 (面接時間約30分/1名)

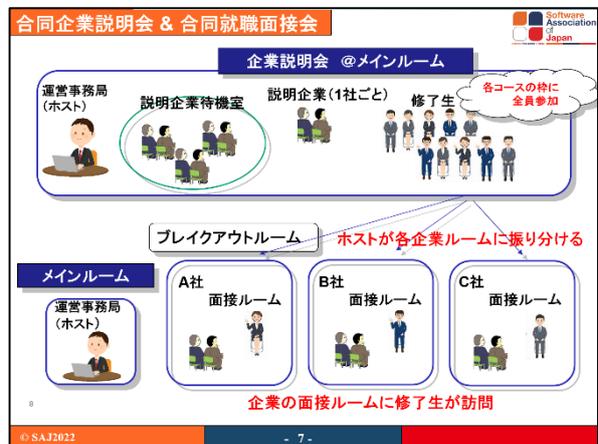
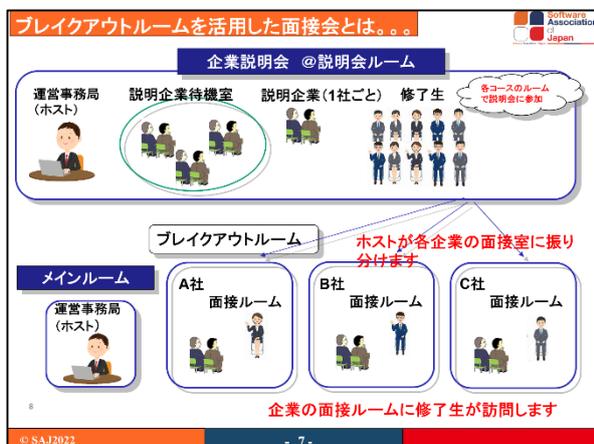
予め決められた面接枠に沿って参加企業と訓練生の面接

④合同就職面接会後

合否を見極め、各社の次の採用プロセスへ進む

参加実績：第6回訓練生対象 企業 46社

訓練生 43名



情報提供セミナー・説明会

人材

就職氷河期世代の方向けの短期資格等習得コース事業

第7回訓練生（令和4年5月開講）と第8回訓練生（令和4年7月開講）

募集のプログラム説明会（各3回開催）

（主催：SAJ キャリアサポートセンター）

主旨：訓練参加を希望する応募者に対して、当事業の説明をおこない訓練への理解度を高め訓練参加人数を増やすこと、選考中の辞退率を低下させる。

第7回訓練生(令和4年5月開講)募集

開催日：第1回 2022年2月25日(金)
第2回 2022年3月24日(木)
第3回 2022年4月4日(月)

会場：オンライン（Zoom）

参加実績：参加人数 111名

- 内容：1. 募集コースのご案内
2. 協会のご紹介
3. プログラムの特徴
4. 各コース説明（IT 検証技術者コース／システム運用技術者コース）
5. 卒業生の声（動画視聴）
6. 質疑応答

第8回訓練生(令和4年5月開講)募集

開催日：第1回 2022年4月21日(木)
第2回 2022年5月16日(月)
第3回 2022年6月1日(水)

会場：オンライン（Zoom ミーティング）

実績：参加人数 103名

- 内容：1. 募集コースのご案内
2. 協会のご紹介
3. プログラムの特徴
4. 各コース説明（IT 検証技術者コース／システム運用技術者コース）
5. 卒業生の声（動画視聴）
6. 質疑応答

訓練、就職支援の特長

- 資格取得**ができます！
デジタル化やテレワーク時代で活躍できるソフトウェアのテスト人材やネットワーク技術者の**入門的資格**を取得できます。
就職後のキャリアアップが不可欠、ゴールではなく**スタート**です！
- 丁寧な選考で訓練生の**モチベーション配慮**！
論理テスト～面接～キャリアコンサルティング面談を行い、新しいキャリアをスタートする意欲を支えます。
- 対面方式**で質の高い訓練を提供！
コロナ対策に万全を期した上で原則**対面方式**でのきめ細かく、質の高い訓練を実施しています。過去7回の訓練でも感染者はでていません。
- 効果的で充実した就職支援**！
SAJは無料職業紹介業の認可を取得し、合同企業面接会を開催したり採用希望企業に訓練生を直接紹介しています。
一履歴書、面接などの添削や指導、社会人基礎力の自己診断なども実施
採用企業によっても、訓練生を正社員として雇用した場合は、特定求職者雇用開発助成金（就職氷河期世代安定雇用実現コース）が申請でき**メリット**！（助成金額は1人当たり企業規模により50～60万円）

©SAJ2022 - 11 -

就職支援 求人実績

当訓練生への求人掲載企業数

IT検証技術者コース	32社
システム運用技術者コース	26社

※上場企業や従業員1000名を超える大手企業、全国に拠点がある企業、30年以上の実績がある企業など多くの企業が皆さんを待っています。

就職先企業実績の一例

アイビーシー株式会社
株式会社エス・キュー・シー
日本ナレッジ株式会社
ネクストウェア株式会社
株式会社ビーエスシー
株式会社フォーラムエイト

※当訓練の修了生を**開催ごとに採用されている企業**や**累計10名以上採用している企業**など多くの企業が積極的に採用しております。

©SAJ2022 - 14 -

情報提供セミナー・説明会

技術

📡 スマート農業最前線～センシング技術の可能性～

(主催：農業 ICT 研究会)

開催日：2022年1月18日(火)

会場：オンライン (Zoom)

参加実績：18社24名

タイトル1：触媒式エチレンセンサの開発とスマート農業への展開

講演者1：洪 達超 氏 (国立研究開発法人産業技術総合研究所 触媒化学融合研究センター・主任研究員)

講演概略1：エチレンセンサを利用した青果物の鮮度品質管理によるフードロスの削減やスマート農業への展開の可能性

タイトル2：農業をAI化するために必要な育成センサー

講演者2：古川 祐光 氏 (国立研究開発法人産業技術総合研究所 産業技術総合研究所センシングシステム研究センター・研究チーム長)

講演概略2：高くても売れる農作物を作るためのAI農業

タイトル3：クラウド型センシングによる薬用植物栽培 (薬用エンジン) 及びセンサーネットワークに関して

講演者3：齋藤 和興 氏 (株式会社セネコム 代表取締役社長)

講演概略3：リモートセンシング技術による、室内栽培での安定生産や促成栽培について



情報提供セミナー・説明会

技術

シミュレーテッド分岐マシン(TM)ー量子コンピュータ研究から生まれた組合せ最適化の新アルゴリズムー

(主催：AI・量子計算技術研究会)

開催日：2022年1月20日(木)

会場：オンライン (Zoom)

参加実績：15社16名

タイトル：シミュレーテッド分岐マシン(TM)ー量子コンピュータ研究から生まれた組合せ最適化の新アルゴリズムー

講演者：後藤 隼人氏 (株式会社東芝 研究開発センター ナノ材料・フロンティア研究所)

講演概略：シミュレーテッド分岐マシン TM は、FPGA や GPU といった現在ある並列計算機で組合せ最適化問題を高速に解く東芝独自の計算機またはソフトウェアのことである。その本質は、量子コンピュータの研究過程で発見した、並列性の高い独自アルゴリズムにある。本講演では、量子コンピュータの概要から始め、いかにしてシミュレーテッド分岐マシン TM が生まれ、その後どのように発展してきたのか、最近の結果も含めて解説。



Deep Learning 狂詩曲 第3弾～古典的分類アルゴリズムと最新実装ライブラリの紹介～

(主催：技術委員会)

開催日：2022年1月21日(金)

会場：オンライン (Zoom)

参加実績：10社14名

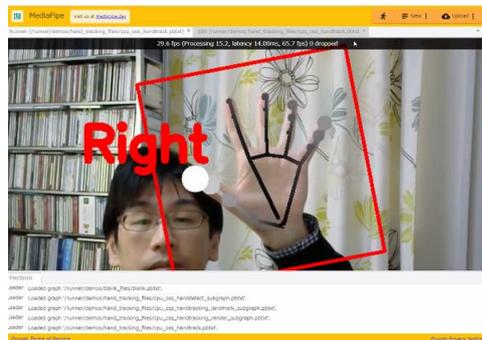
タイトル1：機械学習の代表的な分類手法を学ぶ

講演者：館野 浩司氏 (大阪工業大学 他)

タイトル2：機械学習で話題の技術を学ぶ

講演者：越智 徹氏 (大阪工業大学 情報センター 講師)

講演概略：Deep Learning 狂詩曲シリーズの第3弾。機械学習の仕組みをできるだけ平易に、ライブコーディングを交えて解説。



情報提供セミナー・説明会

技術

若手エンジニアのグローバル化に向けたクリエイティブ研修

(主催：技術委員会)

開催日：2021年11月～2022年1月

11月4日(木) 15:00～16:30 オリエンテーション(研修概要説明)

12月1日(水) 13:00～15:30 事前研修(ランサムウェアセミナー・グループ分け発表)

12月8日(水)～12月10日(金) 現地研修(静岡県袋井市)

1月26日(水) 14:45～17:00 アイデアソン成果発表

会場：静岡県袋井市・山王健保会館+オンライン (Zoom)

参加実績：9社14名

研修概略：オリエンテーションには、「ランサムウェア」の基礎知識と対処方法について、英語で学習し、静岡県袋井市で行う現地研修では、データサイエンスと地域の課題解決をテーマにデザイン思考を育むアイデアソンを2泊3日で実施した。その後、現地でのアイデアをグループごとにオンライン上でブラッシュアップし、1月に成果発表会で各グループのアイデアをプレゼンテーションし、技術委員、袋井市、講師、上席によって採点・評価のうえ、各賞を選出・発表した。



情報提供セミナー・説明会

技術

持続可能な水産業～ITによる「海の見える化」で、海の豊かさを守る～

(主催：スマート水産業研究会)

開催日：2022年2月4日(金)

会場：オンライン (Zoom)

参加実績：21社33名

タイトル：持続可能な水産業～ITによる「海の見える化」で、海の豊かさを守る～

講演者：和田 雅昭氏 (公立はこだて未来大学 教授)

講演概略：世界の関心がカーボンニュートラルに向かうなかで、10年を待たずして魚介藻類をはじめとする食卓に並ぶ食材が、どのように生産されたのか、どのように流通してきたのか、そして、それらの過程においてどの程度の環境負荷を与えたのか、といった視点を消費者は持つようになることが予測される。スマート水産業の推進によるムダの削減は、SDGsの達成や脱炭素社会の実現につながり、和田教授の取り組みと成果について紹介。



量子コンピュータ最新動向～その技術・市場・活用動向から今後の展望～

(主催：AI・量子計算技術研究会)

開催日：2022年2月14日(月)

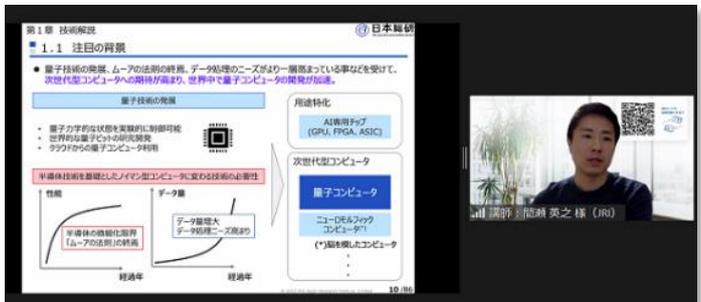
会場：オンライン (Zoom)

参加実績：24社/27名

タイトル：量子コンピュータ最新動向～その技術・市場・活用動向から今後の展望～

講演者：間瀬 英之氏 (株式会社日本総合研究所 シニア・リサーチャー)

講演概略：量子コンピュータの技術仕組みから、国内外の市場・活用動向、さらに現状と今後の可能性などについて、様々な情報に基づき講演。



情報提供セミナー・説明会

技術

TensorFlow Quantum が実現する「量子・古典ハイブリッド機械学習モデル」 とは？

(主催：AI・量子計算技術研究会)

開催日：2022年4月14日(木)

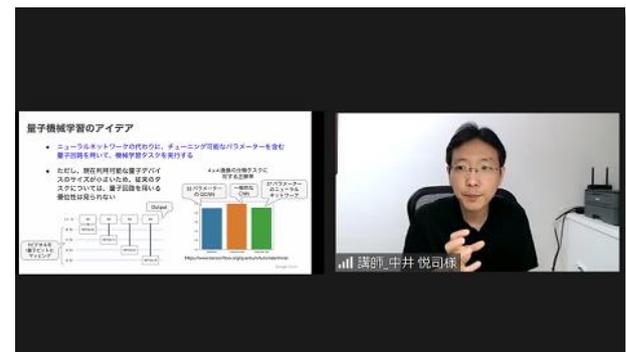
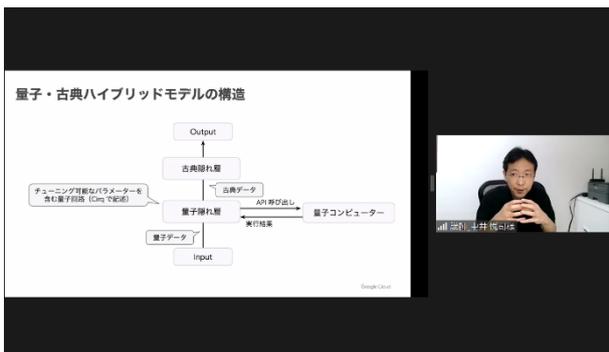
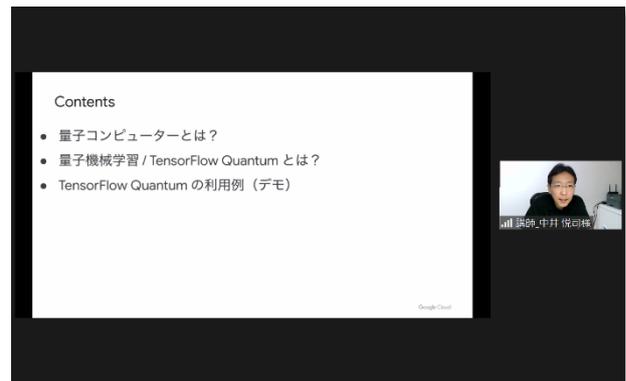
会場：オンライン (Zoom)

参加実績：13社 17名

タイトル：TensorFlow Quantum が実現する「量子・古典ハイブリッド機械学習モデル」とは？

講演者：中井 悦司氏 (Google Cloud Japan Solutions Architect)

講演概略：Google が開発を進める量子コンピューターの概要から始まり、量子回路とニューラルネットワークを組み合わせた「量子・古典ハイブリッド機械学習モデル」の考え方、それを実現する TensorFlow Quantum の役割などを紹介。



情報提供セミナー・説明会

技術

テクノロジーで儲かる農業へ～高知県次世代農業プロジェクト～

(主催：農業 ICT 研究会)

開催日：2022年4月20日(水)

会場：オンライン (Zoom)

参加実績：20社29名

タイトル1：IoP(Internet of Plants)で進化する施設園芸～データ連携が新たな価値を生み出す～

講演者：岡林 俊宏氏 (高知県庁 農業振興部・IoP 推進監)

講演概略：データ連携基盤 IoP クラウドを活用したデータ駆動型農業の実践及びその支援の状況、企業との連携による関連デバイスやソフトウェアの付加価値向上や新規サービス/プロダクト創出に向けた取組、また更には他産業への展開の可能性などについて述べた。

タイトル2：IoP(Internet of Plants)の挑戦～作物生産のDX：産地力向上に向けて～

講演者：山崎 富弘氏 (高知大学 IoP 共創センター 特任研究員)

講演概略：IoP(Internet of Plants)は、作物生産を決定づける光合成や成長など生理生態情報を「見える化」して生理生態情報に基づく合理的な営農支援情報として「使える化」し、さらに産地で「共有化」する仕組みである。セミナーでは、大学で実施する IoP プロジェクトの研究内容について紹介。



米国からお届けする最新技術トレンド～Web3.0 から GAFAM 動向まで～

(主催：技術委員会)

開催日：2022年6月16日(木)

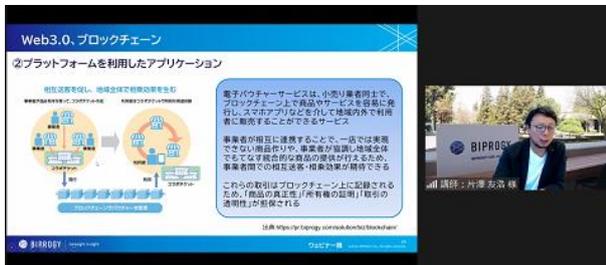
会場：オンライン (Zoom)

参加実績：39社62名

タイトル：米国からお届けする最新技術トレンド

講演者：片澤 友浩氏 (BIPROGY USA Business Development, Director)

講演概略：米国ではどのような企業への投資が伸び、スタートアップベンチャーが誕生しているのかといった実態から、Web3.0 とブロックチェーン、XR・メタバース、Hybrid Work、サイバーセキュリティといった最新技術動向について講演。



情報提供セミナー・説明会

技術

ニホンウナギの7割が違法？！水産物流通の特性と水産流通適正化法に関わる課題

(主催：スマート水産業研究会)

開催日：2022年6月23日(木)

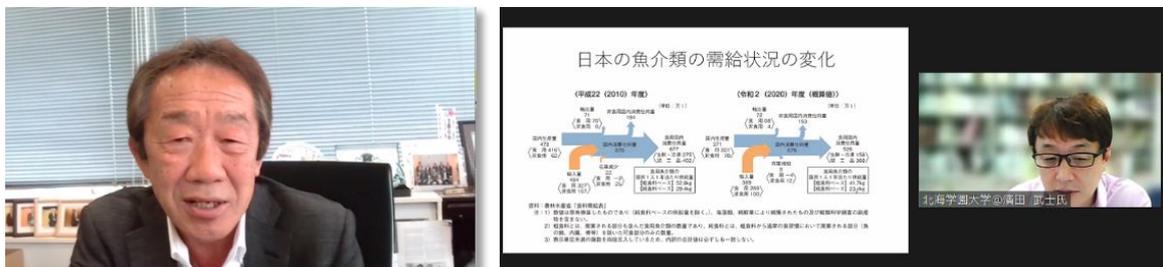
会場：オンライン (Zoom)

参加実績：13社17名

タイトル：水産物流通の特性と水産流通適正化法に関わる課題

講演者：濱田 武士 氏 (北海学園大学 経済学部 教授)

講演概略：水産物流通は供給の不安定性や在庫期間の限定性がある、また多段階であり広域的な情報のネットワークがある、成り立っている。水産物流通の特性と水産流通適正化法制定によるIUU (違法・無報告・無規制) 漁業の対策・課題について水産流通適正化法の課題について解説。



地域デジタル推進

名古屋市におけるDXについて

(主催：地域デジタル推進委員会)

開催日：2022年2月9日(水)

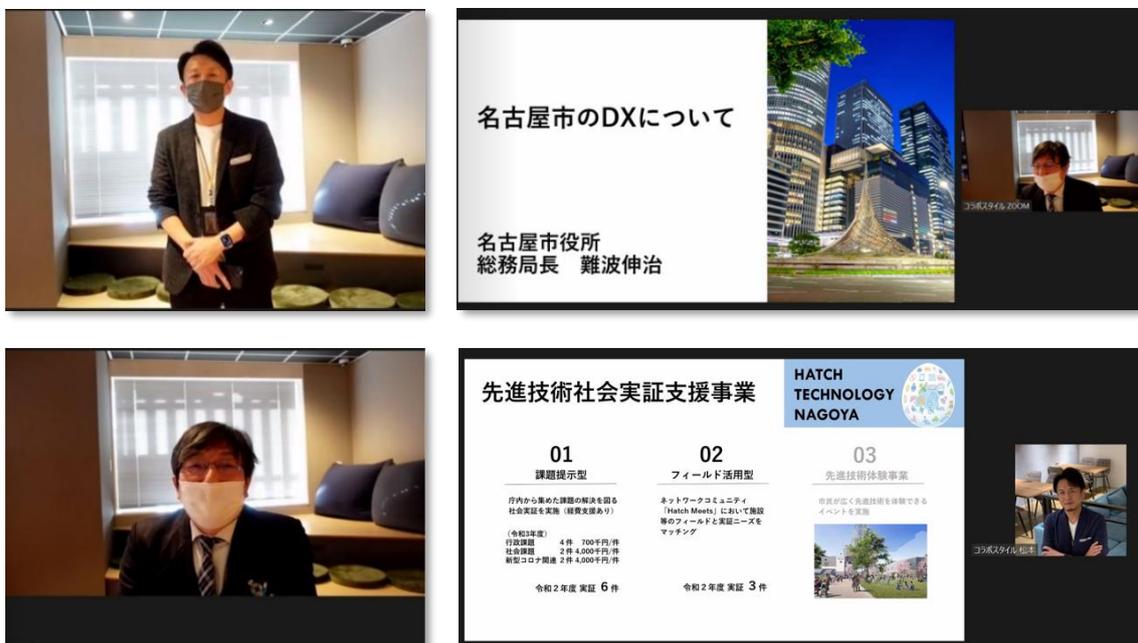
会場：オンライン (Zoom)

参加実績：36社43名

タイトル：名古屋市におけるDXについて

講演者：難波 伸治 様 (名古屋市役所 総務局長)

講師概略：モノづくりの街・名古屋市で取り組まれている行政サービスの向上のための施策や、技術の研究開発や社会実装を促進し、先進技術を有する企業等の集積を図るため、様々な課題に対応する先進技術を活用した社会実証を支援する先進技術実証支援事業「Hatch Technology NAGOYA」について紹介。



情報提供セミナー・説明会

地域デジタル推進

DX 推進研究会 キックオフセミナー日本の生産性を変革する DX とは何か

(主催：DX 推進研究会)

開催日：2022年2月21日(月) 15:00~17:30

会場：オンライン (Zoom)

参加実績：113社 118名

タイトル1：「DX の推進とデジタル産業の創出に向けた政策展開
～ デジタル化の本質と企業競争力の強化を目指して～」

講演者1：和泉 憲明 氏 (経済産業省情報経済課 アーキテクチャ戦略企画室長)

講演概略1：経済産業省が2018年に発表した『DX レポート～IT システム「2025年の崖」の克服とDXの本格的な展開～』で指摘された「2025年の崖」問題、および、新型コロナウイルスによるデジタル化に関する多くの課題の表出。このような変革を乗り切り、企業競争力を強化するという観点から、DX レポートの政策担当官から、デジタル化の国内外の事例や動向と関連する政策展開について紹介。

タイトル2：DX 推進研究会の活動について ワーキンググループ (WG) のご紹介

講演者2：・DX 推進環境整備支援 WG

・SaaS 連携実証 WG

パネルディスカッション

登壇者：和泉 憲明 氏 (経済産業省情報経済課アーキテクチャ戦略企画室長)

大久保 高明 氏 (全国中小企業青年中央会 会長)

澁谷 裕以 氏 (IT コーディネータ協会 会長)

荻原 紀男 氏 (一般社団法人ソフトウェア協会 会長)

モデレータ：竹原 司 氏 (ソフトウェア協会 DX 推進研究会 主査)

講演概略2：ユーザー、IT コーディネータ、ベンダーを代表する3社による、中小企業のDX化をテーマとしたパネルディスカッションが執り行われた。重要なのは、経営者の意識改革と、中小企業に寄り添う伴走者としてのIT コーディネータ、そして、DX化を見据えたAPI連携などベンダー間の協業などが必要であることを業界団体のトップ3名に大いに語っていただいた。



情報提供セミナー・説明会

地域デジタル推進

地域 5G 研究会／顔認証ビジネス研究会 スマートグラス共同 WG 設立セミナー

(主催：地域 5G 研究会／顔認証ビジネス研究会 スマートグラス共同 WG)

開催日：2022 年 3 月 24 日 (木)

会場：オンライン (Zoom)

参加実績：23 社 30 名

タイトル1：XR 概要および法人ユーザにおけるスマートグラス活用事例紹介

講演者1：林 宏樹氏 (株式会社 NTT ドコモ 5G・IoT ビジネス部 主査)

講演概略1：AR、VR、MR を総称した XR の市場が急速な勢いで拡大している中で、XR の概要について説明。ドコモにて取り扱いのある XR 商材について、法人ユーザの活用事例を紹介。

タイトル2：スマートグラスへの顔認証活用について

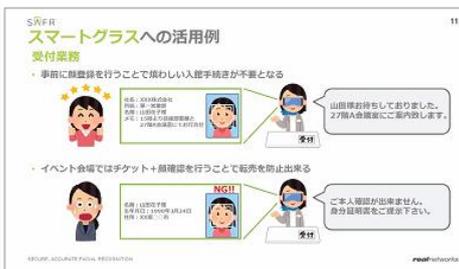
講演者2：斎藤 大治氏 (リアルネットワークス株式会社 営業部長)

講演概略2：SAFR (米国リアルネットワークス社が提供する顔認証ソフトウェア) の紹介とスマートグラスへの活用例を紹介。

タイトル3：現場 DX プラットフォーム“dynaEdge ソリューション”のご紹介

講演者3：小川 岳弘氏 (Dynabook 株式会社 ニューコンセプトコンピューティング商品企画部グループ長)

講演概略3：ウェアラブル可能な小型 windows コンピューターと、メガネ型ウェアラブルデバイスをコアデバイスに、現場業務の効率化と生産性向上に向けた DX プラットフォームとして展開する dynaEdge ソリューションの概要とソフトメーカーとの連携について紹介。



情報提供セミナー・説明会

地域デジタル推進

docomo 5G DX AWARDS(R) 2022 応募説明会

》5G docomo 5G DX AWARDS

(主催：地域 5G 研究会)

開催日：2022年4月21日(木)

会場：オンライン (Zoom)

参加実績：9社18名

タイトル：docomo 5G DX AWARDS(R) 2022 応募説明会

講演者：生田 朋央氏 (株式会社 NTT ドコモ)

講演概略：「docomo 5G DX AWARDS(R) 2022」のテーマやエントリー方法の説明。

アワード概要：「docomo 5G DX AWARDS®」(以下、同アワード)は、5Gを活用した新たなソリューションの創出を目的としたコンテスト。3回目の開催となる今回のテーマは「SDGs」で、5Gによるさらなる発展が期待できる8つの業界「建築」「メディア」「小売」「製造」「医療」「交通・物流」「農業・林業・水産業」「自治体・観光(地方創生)」を中心に、SDGsの達成に貢献する特徴的なアセットを募集。SAJでは、昨年同アワードへの協力に続き、協力団体として参画。今回も、「SAJ-DX 特別賞」として賞金10万円の提供やSAJ会員企業に向けた同アワードの説明会の開催、最終選考会後には、「SAJ-DX 特別賞」の受賞企業をお招きする受賞記念セミナーの開催などを予定。



中小企業の DX 推進に向けて

(主催：DX 推進研究会)

開催日：2022年4月22日(金)

会場：オンライン (Zoom)

参加実績：38社40名

講演者：澁谷 裕以氏 (特定非営利活動法人 IT コーディネータ協会 会長)

講演概略：「デジタル技術を経営の力として活かしていく」ことは、今や経営として避けては通れない道になっている。本講演では、改めてDXとは何か、それを推進するうえで、取り分け中小企業では、どのようなステップを進めていく必要があるかにつき、澁谷会長の経験やITコーディネータの支援活動を踏まえてお話しいただきました。講演の最後に澁谷会長は今後、SAJの会員企業様と深く連携して、一緒に日本の中小企業のDXを推進し、日本を再び元気にしていきたいと考えていることを述べた。



情報提供セミナー・説明会

地域デジタル推進

小さな食品小売業のDXへの挑戦

(主催：DX推進研究会)

開催日：2022年5月26日（木）

会場：オンライン（Zoom）

参加実績：15社20名

講演者：佐藤 隆氏（全日本食品株式会社経営企画室 顧問）

講演概略：中小企業の集合体であるボランタリーチェーンが変化に対応していく為に「変わってはいけないもの」「変化しなければいけないもの」を同時に見直しながら、小さな企業でありながら、時代の波にのまれないようDX化を進める課題とその対応について紹介。



鳥取の不動産会社がDX先進企業に変貌！さらにDXに欠かせない最新CRMをご紹介します

(主催：DX推進研究会)

開催日：2022年6月28日（火）

会場：オンライン（Zoom）

参加実績：23社32名

タイトル1：「鳥取の不動産会社が週休3日を実現し、レガシー企業からDX先進企業になれたワケ」

講演者1：内田 光治氏（株式会社ウチダレック 専務取締役）

講演概略1：創業53年の不動産会社が行ったDX化のプロセスと、週休3日、営業利益2倍、離職率1/5といった同社の成果から、地方の中小企業でDX化が進まない理由について紹介。

タイトル2：「DXはCRMから-最新CRM関連発明をその特許から解説-」

講演者2：河野 英仁氏（河野特許事務所 所長 弁理士）

講演概略2：DX実現のキーポイントである顧客関係向上に欠かせないCRMを先進スタートアップ企業の特許から事例を交えて紹介。



情報提供セミナー・説明会

セキュリティ

ランサムウェアに感染した半田病院では何が起きていたのか？ ～明日からできるランサムウェアへの備え～

(主催 : Software ISAC)

開催日 : 2022年6月22日(水)

会場 : ワイム貸会議室 赤坂スターゲート

参加実績 : 31社 39名

タイトル1 : 半田病院事象概要

講演者1 : 萩原 健太 氏 (SAJ 理事 / Software ISAC 共同代表)

講演概要1 : 徳島県つるぎ町立半田病院コンピュータウイルス感染事案有識者会議。調査報告書に基づき、実際に起きた事象概要について説明。

タイトル2 : RaaS 被害を抑えるための管理的対策

講演者2 : 加藤 智巳 氏 (SAJ 理事 / Software ISAC 共同代表)

講演概要2 : 半田病院で起きた事象を踏まえ、報告書作成に込めた思いや BCP の考え方、責任分界点などについて考察。また、報告書の技術編やセキュリティコントロールガイドラインの活用について説明。

タイトル3 : RaaS 被害を抑えるための技術的対策

講演者3 : 板東 直樹 氏 (SAJ 理事 / Software ISAC 共同代表)

講演概要3 : 攻撃される前の半田病院の状況や攻撃手法の具体的な解説を行うとともに、技術的にできる具体的な対策などについて解説。



情報提供セミナー・説明会

その他

20～30 代向け上司と良好な関係を構築するためのコツとは（第 3 回） ～オンラインも対面も活用できる「仕事を円滑にする調整力」～

（主催：SAJ）

開催日：2022年2月9日（水）

会場：オンライン（Zoom）

参加実績：11社 34名

タイトル：20～30 代向け上司と良好な関係を構築するためのコツとは（第 3 回）

～オンラインも対面も活用できる「仕事を円滑にする調整力」～

- ・ introduction 調整力は交渉力！その鍵は「〇〇〇〇」にあり！
- ・ 提案をしやすくするための2つのコツ
- ・ 相手の気分を害さない交渉術
- ・ まとめ

講演者：芳村 瑞恵 氏（株式会社アイソルート コミュトレ・インストラクター）

講演概略：「20～30 代向けの上司と良好な関係を構築するためのコツ」をテーマとして実施してきた全 3 回のセミナーの最終回です。今回は、「オンラインも対面も活用できる「仕事を円滑にする調整力」」をテーマに開催。



2022年7月以降開催セミナー(予定含む)

7月開催セミナー

エグゼクティブセミナー in 函館 ～ DX 時代と地域の未来 ～

(主催：交流委員会)

開催日：2022年7月1日(金)～7月2日(土)

会場：北海道函館市 他

第40回経営力向上セミナーソーシャルスタイルの概要と活用方法

～苦手な相手やお客さまを、味方につける！

(主催：経営力向上研究会)

開催日：2022年7月4日(月) 16:00～17:30

会場：オンライン (Zoom)

多様な人材と多様な働き方で柔軟な組織づくりを！

(主催：人材委員会)

開催日：2022年7月11日(月) 16:00～17:00

会場：オンライン (Zoom)

第146回アライアンスビジネス交流会

(主催：交流委員会)

開催日：2022年7月12日(火) 15:30～17:40

会場：オンライン (Zoom)

リーダー・管理者向け 部下のタイプ別 マネジメント術

(主催：SAJ 広報WG)

開催日：2022年7月21日(木) 16:00～17:30

会場：オンライン (Zoom)

リアルメタバースが拡張する都市と社会構造

(主催：技術委員会)

開催日：2022年7月20日(水) 15:00～16:30

会場：オンライン (Zoom)

巧妙な手口に騙されるな！なりすましメールの攻撃と対策

(主催：Software ISAC セキュリティ経営委員会)

開催日：2022年7月27日(水) 16:00-17:30

会場：オンライン (Zoom)

AIによる判断の根拠を「見える化」する技術

(主催：AI・量子計算技術研究会)

開催日：2022年7月28日(木) 15:00～16:30

会場：オンライン (Zoom)

2022年8月以降開催セミナー(予定含む)

8月開催セミナー

災害級の被害も発生！？ーから学べるランサムウェア

(主催：Software ISAC セキュリティ経営委員会)

開催日：2022年8月26日(金) 16:00-17:30

会場：オンライン (Zoom)

9月開催セミナー

Web3 (ウェブスリー) : 喧騒と技術の実態

(主催：技術委員会)

開催日：2022年9月8日(木) 15:00~16:30

会場：オンライン (Zoom)

ランサムウェアに備えた最低限のBCP対策

(主催：Software ISAC セキュリティ経営委員会)

開催日：2022年9月5日(月) 16:00-17:30

会場：オンライン (Zoom)

保守契約の課題に関する意見交換会

(共催：Software ISAC/法務・知財委員会)

開催日：2022年9月7日(水) 10:00-11:30

会場：オンライン (Zoom)

20~30代若手社員向け 苦手を克服！会議で積極的に発言をする

(共催：SAJ)

開催日：2022年9月14日(水) 16:00-17:30

会場：オンライン (Zoom)

第147回アライアンスビジネス交流会

(共催：アライアンスビジネス交流会)

開催日：2022年9月20日(火) 15:30-17:40

会場：オンライン (Zoom)

ニュースリリース

2022年1月6日(木)

U-22プログラミング・コンテスト 2022 開催決定！

スポンサー企業募集開始！！

U-22プログラミング・コンテスト実行委員会は、「U-22プログラミング・コンテスト 2022」の開催を決定するとともに、スポンサー企業の募集を開始しました。

2021年のコンテストは、全374作品の応募の中から選出された16作品の制作者たちによるオンラインのプレゼンテーションで最終審査会を実施、経済産業大臣賞をはじめとした各賞が決定し、成功裏に終了いたしました。

このたび2022年度の開催決定をお知らせすると共に、コンテストを支える協賛企業の募集も開始しました(一次募集締切:2022年2月末)。協賛企業には、ランクに応じて実行委員会・審査委員会・懇親会へ参加できる権利など多数の特典があります。

2022年2月25日(金)

経済産業省における「昨今の情勢を踏まえたサイバーセキュリティ対策の強化について」の注意喚起を受けて

経済産業省の昨今の情勢を踏まえた、サイバーセキュリティにおける「リスク低減のための措置」、「インシデントの早期検知」、「インシデント発生時の適切な対処・回復」の大きく3つの項目の注意喚起を受け、より多くの皆様に関わりやすく、Webサイトやメール等で周知を行います。

既存のセキュリティ製品の設定を見直す(高くする)だけでも、組織内のセキュリティレベルを向上できる効果があります。これを機に既に導入している製品そのものの有効活用をご検討ください。

2022年3月22日(火)

ソフトウェア協会の会員数が700を突破

～「ソフトウェア(国)の未来を創る」「ソフトウェアに関わるすべての組織(チーム)・人をサポートする」ことを目指して～

一般社団法人ソフトウェア協会は、2022年3月現在の会員数が700を突破しました。

2022年3月25日(金)

ソフトウェア協会、2022年度の事業計画を策定

～DX時代を支え「ソフトウェア(国)の未来を創る」ことを目指して～

5GやDXの進展、ウイズコロナ等に対応した政策提言の実現やデジタル人材育成の推進などを重点項目とする2022年度の事業計画を策定しました。

今後もSAJは、「ソフトウェア(国)の未来を創る」ことをビジョンとし、「ソフトウェアに関わるすべての組織(チーム)・人をサポートすること」をミッションに掲げ、会員の発展と日本のデジタル社会推進に貢献するとともに、日本のソフトウェア産業の向上に寄与することを目指していきます。

2022年3月28日(月)

ソフトウェアの品質を証明する「PSQ-Lite認証」発行100件を突破

～ソフトウェアの「安心・安全・高品質」の製品認証制度～

SAJが国際規格(ISO/IEC)に基づいてソフトウェア製品の安全性と信頼性を証明するPSQ認証事業において、PSQ-Lite認証発行数が100件を突破しました。

今後もSAJは、ソフトウェア製品の安全性と信頼性を証明する「PSQ認証」事業を推進し、「安心・安全・高品質」なソフトウェア製品の普及・促進に貢献していきます。

ニュースリリース

2022年3月29日（火）

ソフトウェア協会、「docomo 5G DX AWARDS® 2022」に協力 ～「SAJ-DX 特別賞」として賞金 10 万円の提供などを実施～

2021年より「地域 5G 研究会」を立ち上げ、株式会社 NTT ドコモを中心とする SAJ 会員企業とともに、5G の地域への展開に関する課題や新たな事業構想を生み出すための活動、地域社会の DX を加速するための取り組みを進めてきました。こういった取り組みの繋がりから、SAJ では、昨年の同アワードへの協力に続き、協力団体として参画することとなりました。今回も、「SAJ-DX 特別賞」として賞金 10 万円の提供や SAJ 会員企業に向けた同アワードの説明会の開催、最終選考会後には、「SAJ-DX 特別賞」の受賞企業をお招きする受賞記念セミナーの開催などを予定しています。

2022年4月1日（金）

U-22 プログラミング・コンテスト

翌年のキービジュアルを募集する U-22 キービジュアルコンテストを初開催！

U-22 プログラミング・コンテスト実行委員会（実行委員長：青野 慶久（サイボウズ株式会社 代表取締役社長））は、新たな試みとして、2023年のキービジュアルを U-22 世代から募集する「U-22 キービジュアルコンテスト」の開催を決定しました。

「プログラマー」以外の若きクリエイターたちに、作品発表の機会を設けるとともに、コンテストを通じて、「プログラマー」とともに成長することを目的としています。キービジュアルに選出された場合、副賞として 10 万円授与します。

2022年4月1日（金）

U-22 プログラミング・コンテスト 2022 応募要項公開！ 作品ジャンルに「アート」を追加！

U-22 プログラミング・コンテスト実行委員会（実行委員長：青野 慶久（サイボウズ株式会社 代表取締役社長））は、通算 43 回目の開催となる U-22 プログラミング・コンテスト [公式 Web サイト](#) をオープンするとともに、今年度の応募要項を発表しました。

U-22 プログラミング・コンテストは、「プログラミング」技術を活用して、自分たちのアイデアを形にした、オリジナルのアプリケーションやサービスを評価するコンテストです。受賞者には副賞だけでなく、IPA 未踏事業への推薦をはじめ、自らの成長を促すための、ステップアップの道も整備しています。

NFT・デジタルアートに注目が集まる中、募集ジャンルに「アート」を追加し、「プログラミング」の新たな可能性・広がり期待しています。

2021年5月25日（水）

SAJ、佐賀県武雄市と「包括連携協定」を締結 地域活性とスマートシティの実現に向け始動！

佐賀県武雄市と SAJ は、地域活性とスマートシティの実現にむけ、包括連携協定を締結しました。

SAJ では、昨年、地方創生・スマートシティの実現を目的に活動する、スマートシティ研究会（主査 菊池 宗史（株式会社ヴァル研究所 代表取締役社長））が新設され、SAJ に所属する行政会員を中心に、地方行政の現状と課題について、ヒアリングを実施してまいりました。

ニュースリリース

2022年5月30日（月）

サイバーセキュリティボランティア制度を創設

SAJ は、ランサムウェアなどのサイバー攻撃に困窮する病院や自治体などの公益団体に対する技術的支援や、運用面の制度確立のための支援を行う、無償のサイバーセキュリティボランティア制度の開始を発表します。

本制度は、SAJ のセキュリティ情報の交換と分析担当である Software ISAC が、セキュリティの専門家が不在の中小公益団体に向けたサイバー攻撃に対する初動体制への助言、確実に実績のあるセキュリティ調査会社の紹介、調査結果に基づく防御対策、制度改革を支援するとともに、広くノウハウを共有することで、社会全体のセキュリティ防御態勢の向上と事業継続を狙うものです。

また、本年3月からランサムウェアの被害を受けた徳島県つるぎ町立半田病院に、試験的に Software ISAC のサイバーセキュリティボランティア3名を現地へ派遣し、半田病院ウイルス感染事案有識者会議（議長：神戸大学大学院森井昌克教授）での技術的、制度的な調査報告書の策定を支援しました。本ボランティア派遣において、個人情報および機密情報の保護や2次被害を防ぐためのノウハウが蓄積されたことを受け、本格的な支援制度として発表に至りました。

2022年5月31日（火）

荻原紀男会長退任と田中邦裕新会長就任内定のお知らせ

SAJ は、5月開催の理事会において、荻原 紀男（株式会社豆蔵 K2TOP ホールディングス 代表取締役社長）に代わり、田中 邦裕（さくらインターネット株式会社 代表取締役社長）が会長に就任することを内定しました。

また、筆頭副会長および副会長などにつきましても体制変更が内定しています。

なお、今回の役員変更については、2022年6月8日（水）開催の第37回定時総会で正式決定される予定です。

2022年6月10日（金）

ITソフトウェア産業における第三者検証タスクを iCD に追加

一般社団法人 IT 検証産業協会 (IT Verification Industry Association 略称 IVIA : アイビア) (東京都台東区、会長：藤井 洋一)、一般社団法人ソフトウェア協会 (Software Association of Japan) (東京都港区、会長：田中 邦裕)、一般社団法人 iCD 協会 (東京都千代田区、会長：金 修) は、共同で IT ソフトウェア産業における第三者検証タスクを開発し、i コンピテンシディクショナリ (iCD) に追加しました。

報告書

就職氷河期世代の方向けの短期資格等習得コース事業

第6回訓練（IT 検証技術者コース、システム運用技術者コース）開催報告

期 間：2022年1月5日(水)から3月4日(金) 40日間

会 場：東京会場（IT 検証技術者コース、システム運用技術者コース）
ウチダ人材開発センタ7階、8階研修室
大阪会場（IT 検証技術者コース・システム運用技術者コース）
TKP 大阪御堂筋カンファレンスセンター6階 会議室

参加実績：IT 検証技術者コース(東京) 15名（内1名が途中辞退）
IT 検証技術者コース(大阪) 5名（内1名が途中辞退）
システム運用技術者コース(東京) 31名（内6名が途中辞退）
システム運用技術者コース(大阪) 16名（内2名が途中辞退）

修了条件：IT 検証技術者コース IT 検証技術者レベル1合格
システム運用技術者コース 情報ネットワーク・セキュリティ検定1級合格

参加実績：IT 検証技術者コース IT 検証技術者レベル1合格者
東京 12名/14名 修了率 85.7%
大阪 4名/ 4名 修了率 100%
システム運用技術者コース 情報ネットワーク・セキュリティ検定1級合格
東京 21名/25名 修了率 84%
※合格者の内8名は CCNA 取得
大阪 14名/14名 修了率 100%
※合格者の内11名は CCNA 取得



<訓練最終日の修了式挨拶 IT 検証技術者コース・システム運用技術者コース>

報告書

就職氷河期世代の方向けの短期資格等習得コース事業

第7回訓練（IT 検証技術者コース、システム運用技術者コース）開催報告

期 間：平日開催 2022年5月2日(月)から6月29日(水) 40日間

土日開催 2022年5月7日(土)から7月23日(土) 18日間

会 場：東京会場（IT 検証技術者コース、システム運用技術者・土日コース）

ウチダ人材開発センタ8階 研修室

名古屋会場（システム運用技術者コース）

TKP 名古屋栄カンファレンスセンター7階 会議室

参加実績：IT 検証技術者コース（東京） 26名（内8名が途中辞退）

システム運用技術者コース（名古屋） 20名（内4名が途中辞退）

システム運用技術者・土日コース（東京） 26名（内8名が途中辞退）

修了条件：IT 検証技術者コース IT 検証技術者レベル1合格

システム運用技術者コース 情報ネットワーク・セキュリティ検定1級合格

参加実績：IT 検証技術者コース IT 検証技術者レベル1合格者

東京 15名/18名 修了率83.3%

システム運用技術者コース 情報ネットワーク・セキュリティ検定1級合格

名古屋 15名/16名 修了率93.8%

※合格者の内10名はCCNA取得

東京 16名/18名 修了率88.9%

※土日コースはCCNA対象外

<初日の開講式挨拶>

IT 検証技術者コース（東京）



システム運用技術者コース（名古屋）



システム運用技術者土日コース（東京）



実施事業

プライバシーマーク審査事業

1. プライバシーマーク審査判定委員会 (2022年4月～6月)

個人情報保護に関する学識経験者等を委員委嘱し、プライバシーマークの付与適格性審査や個人情報事故措置審議を行う第三者委員会として、計3回の委員会を開催し、付与適格決定17社（更新30社、新規12社、組織変更2社）、個人情報事故措置4件を決定いたしました。

2. 2022年度プライバシーマーク審査事業実施状況 (2022年4月～6月)

	更新	新規	組織 変更	合計	目標 対比	入会 数	他審査機 関からの 乗換	更新辞退 又は他審 査機関へ の乗換	実質増 減数
2021年 度実績	113社	44社	0社	157社	112. 1%	44社	0社	39社	5社
2020年 度経過	57社	13社	2社	70社	53.8 %	19社	1社	6社	8社

※実績は、審査中を含む。

3. 申請様式、申請方法、審査料等

申請様式、申請方法、審査料等については、以下のURLをご参照下さい。

<https://www.saj.or.jp/activity/project/pmark/index.html>

ご案内

U-22 プログラミング・コンテスト 2022/U-22 キービジュアルコンテスト 8月31日締切！コンテストを支援するプロコン応援団も募集中！

https://www.saj.or.jp/NEWS/pr/220401_u22.html

https://www.saj.or.jp/NEWS/activity/u22/2022_ouensponsors.html

U-22 プログラミング・コンテストは、22歳以下の若者を対象に、自らのアイデアをもとに、「プログラミング」技術を用いて実装し、世の中をもっと便利に楽しくする作品を募集しています。コンテストが民間に移行した2014年以降、新しい発想・着眼点から若年層の活躍も目立ち、これまで多くの魅力的な作品を、コンテストの場で披露、表彰してまいりました。

そして、今年も再び、22歳以下のトップエンジニアたちが、コンテストに集結します。

新たな作品ジャンルとして「アート」が追加され、より一層クリエイティブで魅力的な作品が登場する期待が高まります。

さらに、今年初の試みとして、来年のキービジュアルをU-22世代から募集する「キービジュアルコンテスト」を併催いたします。若者ならではのアイデアで、同年代の応募を訴求するとともに、一緒にU-22プログラミング・コンテストを盛り上げてもらうことを期待しております。

当コンテストでは、これからの日本の未来をIT活用して盛り立てていく、若い人材を応援すべく、コンテストをサポートいただく企業様を広く募集しています。ご興味のある企業様は問合せ先に記載のある事務局までご連絡をお願いします。

▼スケジュール（予定）

2022年7月1日～8月31日 応募期間

2022年11月27日 最終審査会

▼参考：コンテストの様子

[U-22 プログラミング・コンテスト公式 Web サイト](#)

[U-22 プログラミング・コンテスト 2021 最終審査会 \(Movie\)](#)





品質の見える化

PSQ認証制度は、世界に通用する国産ソフトウェア製品の品質を認証するしくみです。

新 PSQ 認証制度 申請製品募集中！

ソフトウェア製品品質の国際規格 ISO/IEC25051:2014 に 準拠した第三者適合性評価で、貴社製品をもっとアピール！

PSQ 認証制度は、SAJ が、国産既製ソフトウェア製品/クラウドアプリケーションの品質の高さを世界で通用することを証明するために制定した認証制度で、国際規格である ISO / IEC 25051:2014 を評価基準として参照して構築した品質認証制度です。認証制度には自社で完結する簡易認証、ドキュメントによる第三者認証、実機検証による第三者認証まで簡易なレベルから、より高度な評価・認証までラインナップ化しております。

- ・ PSQ-Lite <簡易認証>
- ・ PSQ-Standard <評価機関によるドキュメントでの第三者認証>
- ・ PSQ-Premium <独立評価機関による実機検証での第三者認証>

<https://www.saj.or.jp/activity/project/psq/index.html>



ISO/IEC 25051:2014



ISO/IEC 25051:2014

認証申請、お問い合わせ先（PSQ 認証制度、マイナンバー対応ソフトウェア認証制度）

一般社団法人ソフトウェア協会 PSQ 認証室

TEL:03-3560-8440 E-mail:psq_info@saj.or.jp

ソフトウェア品質保証宣言 「ソフトウェア品質向上宣言」申請企業募集中！

自社のソフト開発に対する品質への取組をアピールするなら！

SAJ では、ソフトウェア開発企業が自社で開発目標を掲げ、高品質な製品提供ができるような基準を持って、製品出荷を実施（予定含む）する品質向上に向けた自社の活動を宣言書に基づき宣言し、取引先や見込み顧客に向けて自助努力を説明しやすくすることを目的としたソフトウェア品質向上宣言を開始しました。品質宣言条項（フォーマット）への記載と提出のみで証明ロゴマークを提供しますので Web サイト、カタログ等で積極的なアピールに活用可能です。

https://www.saj.or.jp/activity/project/SW_Declare/index.html



データ適正消去証明書発行事業



データの適正な消去のあり方を調査・研究し、その技術的な基準を策定するとともに、これに基づいてデータの適正消去が実行されたことを証明するための第三者的な証明制度の普及・啓発を図り、もって我が国における健全で安心安全な循環型IT社会の実現に寄与することを目的として設立された「データ適正消去実行証明協議会(略称 ADEC)」からの委託を受け、一般社団法人ソフトウェア協会では、「データ適正消去実行証明書」を発行します。

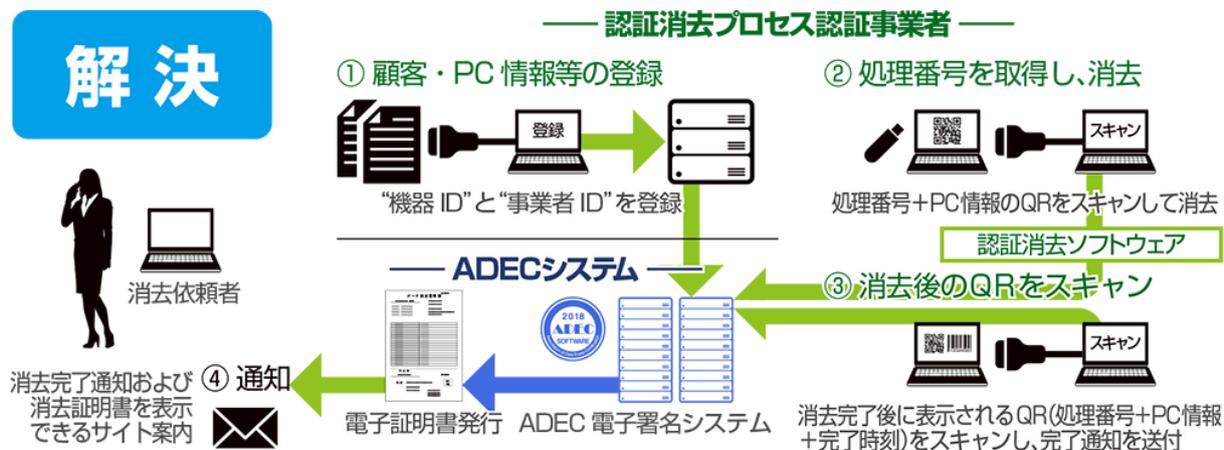
一般社団法人ソフトウェア協会が、第三者として「データ適正消去実行証明書」を発行することにより、より健全で安心安全な循環型IT社会の実現を目指していきます。

問題



消去事業者の作業報告書(自己証明書)では、作業を実施したか確認できない。

解決



第三者が証明することで、適正な消去を行ったことが証明できる。



ADECで認証された「消去ソフトウェア」のメーカーおよび「消去サービス事業者」として認証された企業様と協力し、パソコン等のデータが適正に消去されたことを証明する「データ適正消去実行証明書」を発行します。

SAJ 活動 Pickup

2022年1月～6月

2022年8月26日発行



〒107-0052
東京都港区赤坂 1-3-6
赤坂グレースビル
TEL:03-3560-8440

<https://www.saj.or.jp>

